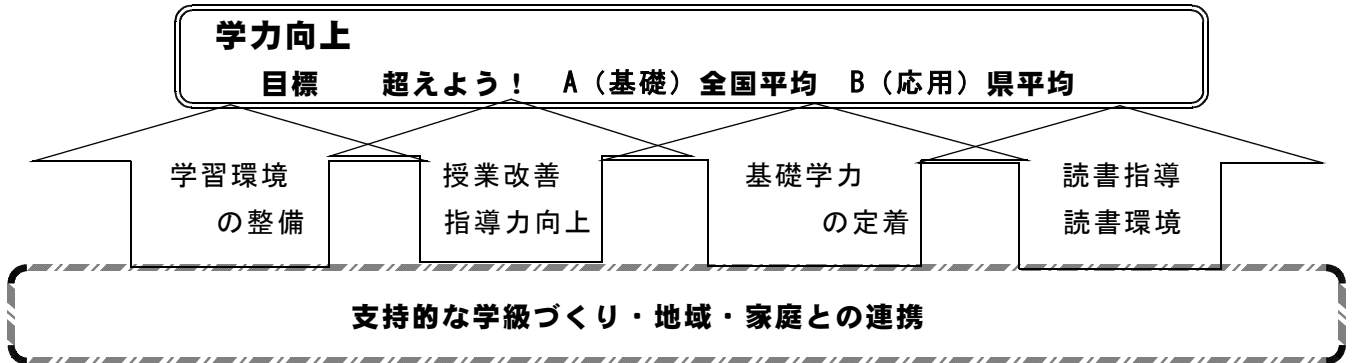


1. 本校児童の生活・学習状況の傾向

- 規範意識は高い状況であるが、過ちを素直に認められない子も見られる。
- 与えられた宿題や課題は忘れずできる。
- 自主的に学習に取り組む姿勢に乏しく、予習・復習にかける時間も少ない。
- できる子とできない子の差が大きく二極化が見られる。
- 基礎的な力はほぼ付いているが、それを活用し表現することが苦手である。
- 決まったことはしっかり言えるが、自分で考えて意見を述べたり説明したりする事は苦手である。

2. 学力向上に向けて

合言葉 ～「やり切る」「やり切らせる」～



3. 学力向上に向けての具体的な取り組み

(1) 学びの土っ子スタイルの定着（7項目）

- ① 筆箱の中身
- ② よい姿勢の合い言葉…ピン！ピタ！グー！
- ③ 聞き方あいうえお
- ④ 話し方あいうえお
- ⑤ ベル着をしよう

あ・相手に顔を向けて
い・一生けんめい
う・うなずきながら
え・えがおで
お・おわりまで

あ・相手にわかる大ききで
い・いそがずゆっくり
う・うつむかないで
え・えがおで
お・おわりまでしっかり

⑥ 教室での約束

- ・ 休み時間の机の上はゼロ
- ・ 鉛筆削りは家で、授業中はしない
- ・ 席を離れるときは挙手して、理由を言ってから

⑦ 家での学習（手引きを参考に）

- 低学年：30分
- 中学年：45分
- 高学年：60分

(2) 授業改善・指導者の授業力向上

- 校内研究（予習・言語活動の充実）での授業研究会
- 自主的な授業公開の充実
- 国語科を中心に字数を制限した書く活動を単元に1回以上実施する。
- 説明し合う授業の充実（学年に応じた話し合い活動の確立）

(3) 基礎学力の充実

- 各日の朝学習(8:40～8:50)「漢字小テスト・5分間計算など」の実施
- 放課後バックアップ事業の充実
「のびのびタイム」(456年…月曜6校時・123年…水曜5校時/月1回)
「スペシャルのびのびタイム」(3~6年…水曜日放課後/月1回)
※管理職・フリーも入り、全校体制での基礎学力の定着及び学力補充
- 学習プリントの共有(PCプリントストックフォルダー・プリントストック引き出し)

(4) 読書指導・読書環境の充実

- 朝読書の工夫・充実(図書室の活用、長編やジャンルに挑戦、読みたい本100選等)
- 詩の暗唱・朗読(愛誦集「来見川」等)毎月の全校集会での発表
- 読書ボランティア「つくしんぼ」、学校司書や教師による読み聞かせ